

心がほんわか温かくなったり、にっこり笑顔になったり、瑞浪市のことがもっと好きになったり…そんなうれしい変化を期待して、昨年お寄せいただいた『ちょっといい話』のほんの一部をご紹介します。



小学生からの「ちょっといい話」



かぞく ちいき ひと ことば
家族、地域の人たちからの言葉で
うれしい気持ちになったよ。

ぼくは、先生やお母さんに「字をきれいに書きなさい」とちゅういされます。ある日、お母さんに「字は何のために書くの?」と聞かれました。ぼくは、はっとしました。今まで考えたこともありませんでした。字は人に伝えるために、読んでもらうために書くものだと教えられました。その日の宿題で、ぼくは心をこめてていねいに書きました。すると先生から「すごい! がんばったね!」とほめてもらいました。とてもうれしかったし気持ちよかったです。 小4

わたしは、やさいがあまり好きではありませんでした。でも、おじいちゃんがつくったきゅうりをいっしょにしゅうかくして、がんばってたべてみたらおいしかったです。それから、きゅうりがだいすきになりました。ほかのやさいもたべられるようになりました。おじいちゃん、おいしいやさいをつくってくれてありがとう。 小1

私が階段を下りようとした時、おばあさんとおじいさんが重たそうな荷物を持っていました。私が「荷物、持ちましょうか」と言うと「お願いしてもいい?」と言われたので「いいですよ」と答えたら「ありがとう」と言われました。人助けをした後はとっても気持ちがよかったです。 小6

ぼくが、学校に行くとき、毎日「おはようございます」とあいさつをする人がいます。それは学校の下のしん号の所に立ってくれるおじいさんです。どんなときも「おはよう」と言ってくれるのでうれしくなるし、今日もがんばろうという気持ちになります。それに、ぼくたちが安全にわたれるように見守ってくれるから安心です。これからも大きな声で「おはようございます」とあいさつをしたいと思います。 小3



中学生からの「ちょっといい話」



ともだち
友達や、地域の人たちからの温かい
言葉が、パワーになるんだね。

自分は、議長というクラスをまとめる係をしています。ある日、学年集会で、クラスの取り組みの成果や課題を発表する時間がありました。自分は、人前に立つのが苦手です。いつも言葉がつかまってしまいます。リハーサルの時、一緒に発表する級長（自分と同じ、クラスをまとめる係）の友だちが「ぼくも言葉がつかまるのはわかるよ。一緒に頑張ろう!」と励ましてくれました。その言葉で自分に自信が持て、堂々と発表することが出来ました。その友だちも「やったね」と、一緒に喜んでくれました。友達という存在は、かけがえのないものなんだなと思いました。 中1

僕が資源回収のボランティアをしていたら、地域の方が「中学生が手伝ってくれて助かるよ」と言ってくださいました。気持ちが込み上げ、多くのゴミをトラックに積み込みました。すると地域の方が「中学生のおかげで早く終わったよ」と言ってくださいました。僕は、これからも地域に貢献しようと思いました。 中2

高校生からの「ちょっといい話」



人と人のつながりが、
心の支えになります。



私の地域にネパールの方が引っ越して来ました。話す機会があったのですが、相手の言いたいことや、私の伝えたいことがなかなか伝わらずに上手く会話できずに終わってしまいました。私は、少しでも話がしたいと思い、ネットでネパール語の「ありがとう」を調べ言うようにしました。後日会った時に、ネパール語でありがとう「ダンニィバ」と伝えるとすごい笑顔になってくれました。感謝の言葉は、どの国でも人を笑顔にさせる力があるんだなと思いました。 高3

今、私は高校2年生で、弓道部に所属しています。3年生の先輩が引退して、私は部長になりました。元々、人をまとめることが得意ではないし、最近、的中率がなかなか上がりず悩んでいました。そんな時に仲のいい先輩が「3年生は〇〇さんが頑張っているのを知っているから部長に選んだんだよ。だから、最初は大変かもしれないけれど、自分たちもサポートするから大丈夫だよ」と声を掛けてくれました。この言葉のおかげで私は、今も部活を頑張っています。 高2



市民のみなさんからの「ちょっといい話」



しあわ たね ひび
幸せの種は、日々の
暮らしの中にあります。

今年の4月からボランティアで朝7時から8時迄の1時間、黄色の帽子、ジャンパー、交通安全旗を纏い、交通安全の街頭指導を毎月一回行っています。正直な気持ち、あまり気が進みませんでした。行き交う車のドライバーの「おはようございます」の会釈、小学生のハキハキとした「おはようございます」の挨拶、横断歩道は、右手をあげて渡り切ると、私たちに「ありがとうございます」と会釈をする。そのマナーの行き届いた、交通安全に対する強い意義を理解し、実践し、感謝の気持ちも忘れない対応に、まだまだこの町も捨てたもんじゃないと嬉しさがこみ上げ、身の引き締まる思いです。来月からも頑張ろうと思います。 60代

給食大好きな孫は、ほぼ毎日、私の娘である母親に「豚汁と高野豆腐の煮物がおいしかった」とか「イカ天の薬味ソースがネギとにんにくが効いていていい」など、その日の給食のおいしかった報告を妹とするそうです。もうすぐ中学を卒業するので「あと何回しか食べれん」と寂しい言葉も聞きました。健康な心と身体は、おいしいごはんを食べることで保たれます。家庭での食事はもちろんですが、学校でのおいしい給食で、孫は心を満たされていたと思います。9年間おいしい給食を食べられて良かったね。給食センターの皆様、いつもおいしい給食をありがとうございました。 70代

